



教員紹介

経営学部

加藤 省三 KATO Shozo

| | |
|-----------|---|
| 職位 | 特任教授 |
| 最終学歴 | 福井大学大学院工学研究科博士後期課程修了 |
| 職歴 | 日立エンジニアリング（株）ソフト開発システム部長、同情報システム本部シニアエキスパート、福井高専教授、星城大学教授を経て、現職 |
| 学位 | 博士（工学） |
| 資格（免許）、認定 | 高等学校教諭（工業） / 技術士（情報工学・経営工学・総合技術監理） / 情報処理技術者（第一種・特種） / ITC 協会認定 IT コーディネータ / 経営品質協議会認定セルフアセッサ |
| 担当科目（学部） | e ビジネス論 / 電子決済論 / 経営情報論 / ビジネスデータ分析 / 情報セキュリティ / 情報と職業 / 情報科教育法 I・II / ICT 教育など |
| 担当科目（大学院） | |
| 学生へのメッセージ | 今日の著しく変動するグローバル社会において、経営と IT（情報技術）の両方に精通する人材が幅広く求められています。学生時代には、そのための専門知識はもちろんのこと、「積極性」や「タフネス」を身に付けるためにチャレンジ精神を大いに発揮して下さい。 |
| 研究内容 | 1) IT コーディネータの実践的活用法 2) 経営品質セルフアセスメントの導入活用法 3) オフショアリングにおけるプロジェクトマネジメント 4) 中小企業経営における IT 活用 5) AI・IoT 時代における情報教育および技術者教育 など |
| 研究分野キーワード | IT コーディネータ / 経営品質 / オフショアリング / 情報教育 |
| URL | |
| 著書 | 1) 日本技術士会編（分担執筆）、『技術士ハンドブック第 2 版』5・5 章「統計的品質管理」、オーム社、pp.396-404（2014） 2) 日立技術士会編（分担執筆）、『技術士の資格を活かす第 2 版』編 4・章 15「企業内技術士から教授への転身」、日立技術士会、pp.113-116（2013） |

| | |
|--------------------------------------|---|
| | <p>3) 茨城県中小企業経営研究会編（分担執筆）、『元気の出る中小企業経営』第2章4節「IT 専門家を徹底活用」、茨城新聞社、pp.119-128（2003）</p> <p>ほか3件</p> |
| 論文 | <p>1) 加藤、「高専における実践的な技術者教育に関する考察」（研究ノート）、星城大学研究紀要、第19号、pp.37-44（2019）</p> <p>2) 加藤、「中小企業におけるIT経営推進に向けた一考察」（研究ノート）、星城大学研究紀要、第17号、pp.51-58（2017）</p> <p>3) 加藤、「大学経営における経営品質セルフアセスメントに関する考察」（研究ノート）、星城大学研究紀要、第15号、pp.75-82（2015）</p> <p>4) 森・荻原・菅原・谷口・加藤・荒木、「口笛検定試験システムの団体受験への応用」、電気学会論文誌A、Vol.131、No.7、pp.581-586（2011）</p> <p>5) 森・荻原・邸・谷口・加藤・荒木、「圧電素子を用いた骨伝導による口笛音カウント装置の試作」、電気学会論文誌A、Vol.131、No.4、pp.246-250（2011）</p> <p>6) S.Kato, C.Araki, S.Hashimukai, Y.Ogoshi, M.Mori, and S.Taniguchi, "Kana-to-kanji conversion method using Markov chain model of words in bunsetsu", Proc. 2010 4th International Universal Communication Symposium, pp.153-159(2010)</p> <p>7) 加藤・荒木・小越・谷口・森、「かな単語マルコフ連鎖モデルを用いたかな漢字変換法」、電気学会論文誌C、Vol.130、No.6、pp.1054-1060（2010）</p> <p>ほか19件</p> |
| 学会発表 | <p>1) S.Kato, C.Araki, S.Hashimukai, Y.Ogoshi, M.Mori, and S.Taniguchi, "Kana-to-kanji conversion method using Markov chain model of words in bunsetsu", 2010 4th International Universal Communication Symposium(October 18-19, 2010, Beijing, China)</p> <p>2) 加藤・荒木・小越、「単語境界推定を用いた仮文節境界誤りの補正法」、電気関係学会北陸支部連合大会（2008.9.12-13、富山大学）</p> <p>3) S.Kato, C.Araki, and Y.Ogoshi, "An Evaluation of New Method to Convert Non-segmented kana Strings to kanji-kana Strings Using Markov Chain Model", International Conference on Electrical Engineering 2008(July 6-10, 2008, Okinawa Convention Center, Japan)</p> <p>ほか10件</p> |
| <p>社会的活動</p> <p>（公開講座・講演・国際交流など）</p> | <p>【学協会活動】</p> <p>1) 所属学協会：情報処理学会 / 電気学会 / 日本技術士会 / 日立技術士会</p> <p>2) エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム実行委員（2008～2010）</p> <p>3) 情報処理学会北陸支部評議員（2006～2007）</p> |

4) 日立技術士会広報委員 (2003～2007)

【講演活動】

1) 企業講演「高専における実践的な技術者教育の現状と課題」 (2018)

2) 高校講演「情報の職業」 (2017)

3) ロータリークラブ講演「地域密着型の活動を目指して」 (2008)

4) 大学講演「最新の技術士制度について」 (2007)

5) ラジオ講演「人工知能と自然言語処理」 (2006)

ほか 19 件

【地域社会活動】

1) 東海市教育委員会委嘱委員 (2013～2014)

2) 愛知県教育委員会委嘱委員 ほか 2 件 (2011～2012)

3) 福井県委嘱委員 ほか 21 件 (2006～2010)

4) 公立中学校 PTA 会長 ほか 5 件 (1999～2005)

【国際活動】

1) JETRO 国際テクノビジネスフォーラム・コーディネータ (IT 分野) (2002～2003)

2) JETRO 輸入商品発掘専門家 (ソフトウェア) (1997)

【新聞寄稿】

1) 加藤、「AI 社会における論理的思考力」、中部経済新聞、第 24567 号、8 面 (2020)

2) 加藤、「中小企業における生産性向上」、中部経済新聞、第 24251 号、10 面 (2019)

3) 加藤、「中小企業における「攻めの IT」」、中部経済新聞、第 24101 号、8 面 (2019)

4) 加藤、「IT コーディネータの積極的活用を」、中部経済新聞、第 23328 号、8 面 (2016)

5) 加藤、「企業経営に学ぶ教育機関の経営革新」、中部経済新聞、第 23109 号、8 面 (2016)

【学内活動】

1) 教務部長 (2015～2017)

2) 附属図書館長 (2011～2014)

その他